

北野病院からのお知らせ

広報誌“きたの通信”をリニューアルいたします。

当院では年4回患者さん向け広報誌として“きたの通信”を発行してまいりましたが、秋号よりリニューアルすることとなりました。新しい広報誌では、より皆様に北野病院での取り組みなどわかりやすくお伝えできるよう作成していきたくと思います。今回はリニューアル前に“きたの通信”の歴史を振り返ってみたいと思います。

広報誌きたの通信 20年間の歩み

<p>1</p>  <p>●第1号は2002年1月に発行されました。この時は“プラナつうしん”という名前で2色刷り4ページの構成。</p>	<p>2</p>  <p>●第2号は2002年7月発行。名前は今と同じ“きたの通信”へ変更。</p>	<p>3</p>  <p>●第26号(2008年10月)ナカジマ銅管様よりドクター・カーをご寄付いただきました。ドクター・カーはその後大活躍し、たくさんの命を救う架け橋となり今も活躍中です。</p>	<p>4</p>  <p>●第39号(2012年1月)カラー刷りで“きたの通信”を発行。</p>	<p>5</p>  <p>●第41号(2012年7月)“きたの通信”のリニューアル。</p>
<p>6</p>  <p>●第46号(2013年10月)“きたの通信”のリニューアル。</p>	<p>7</p>  <p>●第55号(2016年1月)“きたの通信”のリニューアル。 ●第59号(2017年1月)表紙写真の公募をスタート。院内公募で表紙写真を選定。</p>	<p>8</p>  <p>●第71号(2020年1月)2019年12月12日に鼓膜再生療法について記者会見を実施。</p>	<p>9</p>  <p>●第74号(2020年10月)NICUにおけるオンライン面会スタート。</p>	<p>10</p>  <p>●第75号(2021年1月)2020年11月 新館の定礎式、新館についてご紹介。</p>

北野病院 公式Twitterを開設しました!
ぜひ、お気軽にフォローしてください!
https://twitter.com/kitano_koho



北野病院 公式Facebookをご覧ください!
携帯電話やスマートフォンからカンタンにアクセスいただけます。



～表紙写真撮影者からのコメント～

撮影者：施設課 課長
太陽に向かって元気に伸びていく「ひまわり」。夏の代表的なお花の一つですね。このひまわりの数ある花言葉の一つに「情熱」という花言葉があるそうです。ここ最近はコロナ禍を含め、暗い話題が多い気がしております。当院に来られる患者様、ご家族様、そして、スタッフの皆が、この花のように明るくなりますように。そんな願いを込めて1年前の夏に撮ってきました。全ての物事に「情熱」を注ぐ必要はないかもしれませんが、注げる何かを見つけて、「一步一步」進んでいこうと日々思っています。最後になりますが、穏やかな日常が早く戻りますように。そして、暑い夏に負けずに、乗り切ってまいりましょう。

寄附者一覧 (2021年4月～6月)

- 【法人】株式会社安藤忠雄建築研究所様 公益財団法人鐘庵社様 ジョリーメイ株式会社様 匿名 14社様
【個人】川端祥子様 谷幸児様 茨木信吾様 中村 美智子様 田邊和雅様 長田洋介様 匿名 8名様 (順不同)



患者様と北野病院をつなぐ連絡帳

きたの通信

No.77 2021.夏号

公益財団法人 田附興国会 医学研究所
北野病院



特集

マスク着用必須の コロナ時代に口腔ケアを再考する

これって何?
歯科衛生士とは?

かんごホットToday
口腔ケア・嚥下リハビリチームのご紹介

栄養部日より
一生食事を楽しむために、“食べる力”を保ちましょう

いろいろ知りたい、聞いてみたい きたのQ&A

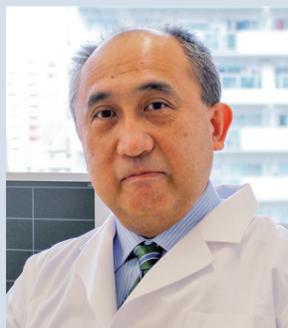
きたのトピックス・北野病院からのお知らせ



特集

マスク着用必須のコロナ時代に
口腔ケアを再考する

歯科口腔外科 主任部長 高橋 克



高橋主任部長

コロナ流行から1年以上経過し、行動制限や、外出自粛、感染予防のためマスクの着用など、日常生活は大きく様変わりしました。マスクを着用すると、通常の鼻からの呼吸が困難となるため、口からの呼吸が主体になったと言われています。その結果、口腔乾燥などで口腔環境が悪化し、改善するための「口腔ケア」「オーラルケア」に関する情報を耳にする機会が増えてきました。そこで今回の特集は、北野病院 歯科口腔外科で実際に取り組んでいる口腔ケアの実際についてご紹介させていただきます。



がん治療における口腔ケア介入

がん治療において歯科口腔外科受診を主治医より指示された際、がんの治療と歯科口腔外科受診がなかなか結びつかない方もおられるかもしれません。がん拠点病院の要件の1つに口腔ケアを担う診療科として歯科口腔外科の設置が義務付けられ、がん治療における口腔ケアの重要性が近年クローズアップされてきています。口腔ケアを行うことで、がん手術後の誤嚥性肺炎の発症率が低下し、入院期間の短縮に結びつき、結果として医療費削減という経済効果も期待されています。口腔ケアを行うことで、抗がん剤投与や、放射線治療による口内炎を起こしにくくなり、起こったとしても疼痛緩和等の症状改善にも貢献し、副作用は軽減します。これらを専門的には、周術期口腔機能管理と呼んでいます。その周術期口腔機能管理の適応はがん治療ばかりでなく、心臓の手術や、人工関節等を留置する整形外科手術、移植手術などにも適応が拡大してきています。

肺炎になると歯科口腔外科受診

昔では考えられなかったことですが、近年、肺炎で入院すると、肺炎治療の一環として歯科口腔外科受診の指示を受けることがあるかと思えます。これは口の中にいる細菌を誤嚥することが重症肺炎の原因の1つとなっていることが明らかになってきた

ためです。実際に、多数のう蝕や重度の歯周病といった口腔衛生状態の悪い患者さんのご紹介を受けることも珍しくありません。歯科口腔外科を受診して頂いた際には、少しでも口の中の環境を改善するために、口腔ケアの専門職であります歯科衛生士による指導を行っています。患者さんからは、「何や歯の掃除だけか」と言われることもありますが、「患者さんに対する口腔ケアそのものが、非常に重要な治療です」と説明するようにしています。

糖尿病と歯周病の双方向性の関連

以前より糖尿病が怖いのは、その合併症だと言われていますが、6番目の合併症が歯周病だというのはよく知られていました。そこで、糖尿病の患者さんは、歯周病予防のために歯科を受診するように指示を受けていました。しかし近年、その逆に重度の歯周病は、糖尿病を悪化することが示され、糖尿病の治療の一環として積極的に歯周病治療(口腔ケア)を行っている症例が増えてきています。しかし、糖尿病のコントロールの悪い患者さんへの無理な抜歯は、高血糖や重篤な抜歯後感染を引き起こす可能性もあります。抜歯等の侵襲的歯科処置は、糖尿病科と連携し治療に取り組んでいます。



骨粗鬆症、骨転移治療薬治療前の口腔内チェック

骨粗鬆症、がんの骨転移に対する特効薬に骨吸収抑制薬があります。特効薬である反面、投与中の抜歯等の処置が「顎骨壊死(顎の骨が腐る)」を起こす可能性があります。そこで、当院歯科口腔外科では以下の2つの点において、投与開始前にチェックを行っています。

- 1) 抜く必要のある歯は、投与開始前に抜歯する
- 2) 口腔ケアを通常よりの念入りに、継続的に行う



またすでに服用を開始している患者さんの抜歯や、顎骨壊死・骨髄炎を起こしてしまった患者さんに対する治療も口腔ケアを基本治療として、根治的な治療を目指して積極的に取り組んでいます。骨粗鬆症、がん治療等の原疾患の加療が優先ですので、主治医と連携して治療を計画します。

我々、北野病院 歯科口腔外科は2018年6月に歯科ユニット2台(歯科医師1名、歯科衛生士1名)で17年ぶりに開設しました。来年1月より歯科ユニット5台(歯科医師2名、歯科衛生士5名)に拡大予定です。各科の主治医の先生方と連携し、今回ご紹介させて頂きました「口腔ケア」等の必要な歯科口腔外科医療を提供して参りますので引き続きよろしくお願い申し上げます。





医療のコトバ

これって何？

聞いたことがあるような、ないような？
難しい医療用語などを
わかりやすく解説します！

歯科衛生士ってどんなお仕事なの？

A 歯科衛生士とは歯・お口の健康づくりと
口腔ケアを通じて人々の生涯をサポートする
国家資格を持った専門職です。

よく歯科助手と何が違うの？と聞かれますが歯科衛生士になるには高校卒業後に大学や専門学校の養成機関で3年以上カリキュラムを修め、国家試験に合格する必要があります。以前は女性の職業と位置づけられていましたが、2015年に法改正され、少数ながら男性も活躍しています。よく皆さんが通っている歯科医院で歯石除去や歯磨き指導などを行っているのが歯科衛生士です。



歯科衛生士の業務には歯科診療補助、歯科予防処置、歯科保健指導の三大業務がありますが、北野病院の口腔外科では以下のような仕事をしています。

- ① 歯科診療補助 全身麻酔下での親知らずの抜歯など一般の歯科医院では難しい治療の補助
- ② 歯科予防処置 がん治療中(周術期口腔機能管理)や入院患者さんの口腔ケア
- ③ 歯科保健指導 口腔内に合わせた歯ブラシや歯間ブラシの使い方の指導

近年、口腔ケアは糖尿病、心疾患、脳血管疾患などの全身疾患の予防・改善に効果があることがわかってきました。がん治療においても口腔内のトラブルを軽減し、がん治療を円滑に行うために歯科受診が重要です。その為、病院における歯科衛生士のニーズは高まっており、活躍の場は広がっています。



北野病院でも院内の嚥下・口腔ケアチームや栄養サポートチームなど多職種と連携を取り、お口の中の専門家として治療のサポートに日々努めています。



看護の現場からホットなニュースをお届けします

かんごホット Today



口腔ケア・嚥下リハビリチームのご紹介

口の中の清潔と、食べる機能の評価・維持・改善を目指します。

当院には口腔ケア・嚥下リハビリチームという多職種で構成する医療チームが存在しています。本日はその紹介をさせていただきます。

【チームの目的】

口腔内(歯、のど、口の周囲・あご・ほおの筋肉など)の働きが悪くなると、口から食べ物を食べることができなくなります。摂食(せっしょく=食べること)・嚥下(えんげ=飲み込むこと)の障害は、窒息や肺炎、低栄養など生命の危険に直接的に結びつくばかりか、「食べる楽しみ」という人間の基本的欲求や生活の質にも関わります。



“口腔ケア・嚥下リハビリチーム”では、栄養状態、食事の状態、口の中の衛生状態をチェックし、多くの医療専門職との連携により、食べる機能の回復や肺炎を防止し、日常生活における活動性の向上を目指します。

【対象】

下記のような症状があり、チームへ依頼のあった方を対象とします。

- 食物を咀嚼(そしゃく=噛む)できない
- 食物が飲み込めない
- 食事の時にむせる
- 長期間食事摂取ができていなかった

【スタッフ構成】

- リハビリ医師 ● 耳鼻咽喉科医師
- 歯科・口腔外科医師 ● 歯科衛生士
- リハビリスタッフ
(PT:理学療法士/OT:作業療法士/ST:言語聴覚士)
- 管理栄養士 ● 薬剤師 ● 看護師



口腔ケア・嚥下リハビリチーム

【活動日/活動内容】



毎週火曜日を活動日とし、対象の患者さんのところへ訪室します。耳鼻咽喉科医師により鼻からファイバースコープを挿入し、実際の飲み込む様子を観察しながら、チームで評価・検討を行います。その人に合った食事形態を提案したり、水分を摂る時のとろみの度合いを検討したりしています。

食べることを楽しむことができる人は長寿であり、健康寿命が延びると言われています。対象とされる方が少しでも望む形に近づき、食を楽しむことができるよう、今後もチームで協力して、活動して参ります。

栄養部だより vol.8

一生食事を楽しむために、「食べる力」を保ちましょう

「硬いものが食べにくくなってきた」「食べこぼしが増えてきた」など、食べるときの小さなトラブルが増えていませんか？それは口腔機能の低下かもしれません。

小さなトラブルでも放っておくと、知らず知らずにやわらかい食品を選びがちになり、噛む機能の低下を自覚しにくくなります。また食事量の低下や栄養の偏りを引き起こし、体重、筋肉量の減少に見られる栄養状態の低下、ひいては心身機能低下の悪循環に陥ります。

歯や口の機能を維持する口腔ケアを続けることは、食べられる食品群が豊かになり、栄養バランスのとれた食事をすることができ健康寿命の延伸が期待できます。

一生食事を楽しむために「食べる力」を保ちましょう。



肉類や野菜を避ける
たんぱく質・ビタミン・ミネラル・食物繊維の不足



噛む機能の低下



要注意

やわらかいものを食べる



穀類・菓子類の増加

口腔機能の低下

↓

心身機能の低下

【参考資料】
 ・厚生労働省e-ヘルスネット「口腔機能の健康への影響」
 ・要介護高齢者の口腔・栄養管理のガイドライン2017
 ・歯科診療所におけるオーラルフレイル対応マニュアル2019年版

患者さんからいただいた、ご質問の一部にお答えします！

いろいろ知りたい、聞いてみたい きたのQ&A

Q 診察の予約変更は電話での受け付けのみなのでしょうか？

A ご予約の変更は、各外来受付まで直接お越しいただくか、平日の15:00～16:30にお電話でご依頼いただくようお願いしております。

ただし、5月6日より**産婦人科と皮膚科**のみメールで診察と検査予約の変更が可能となっております。

ご利用方法

- ①パソコンやスマートフォンから下記QRコードを読み込む又は、URLにアクセスしてください。
- ②メールアドレスを入力し送信すると、受付フォームのURLが届きます。
- ③注意事項をご確認の上、表示される必要情報を入力してください。
- ④手続きが完了次第、当院よりご連絡をさせていただきます。

ご予約変更 URL
https://www.kitano-hp.or.jp/for-gairai/reservation/yoyaku_before

今後メールでのご予約変更が可能となる対象診療科を増やしていく予定です。お電話が繋がりにくい場合などは是非こちらをご活用ください。

※メールでのご予約変更につきましてはご利用条件がございます。

詳細につきましては、ホームページをご覧ください。C・Dブロック受付にてお尋ねいただけますようお願いいたします。

スマートフォンからはこちらどうぞ！



就任のご挨拶



放射線診断科 部長
石守 崇好

この度、放射線診断科部長を拝命いたしました石守崇好と申します。私の専門分野は画像診断ですが、とくにPET/CTを中心として、放射線の医薬品を体に投与して診療を行う核医学の分野で20年余の経験を積んで参りました。当院では、京大病院と同じ高感度のPET/CT装置が今春稼働開始しています。ブドウ糖の類似物質であるFDGという薬剤を用いたPET/CT検査は、多くの悪性腫瘍の診断、とくに治療方針決定のための転移の評価(病期診断)や治療後の再発の検出に有用であり、CTやMRIなどの他の画像診断では得られない情報を追加することによって、診療の質の向上に寄与できればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

(令和3年7月1日就任)

北野メディカルビジネススクール(KMBS)について

北野メディカルビジネススクール 校長
(医療情報部 部長) 平木 秀輔

昨今、病院経営を取り巻く環境はますます厳しくなっております。もちろん医療機関は非営利を前提に運営されていますが、それでも診療報酬に上限があるかぎりには、無制限に医療資源を投入することはできません。

医療の質を向上させつつ、限られた資源を無駄遣いしないためにはどうすればよいか。医療機関は行政による政策を待つのみならず、内発的な取り組みを求められているのではないのでしょうか。

そこで北野病院では、「北野メディカルビジネススクール」を開講し、若手の事務職員を対象に医療を取り巻く環境や、財務・人事・調達関係の知識をつけるための教育コースを実施いたしました。

「ビジネス」という単語は古英語の“bisig”という単語から派生したと言われており、今でいう「ケア」に近い意味を持っていたと言われております。医療専門職が患者さんに向き合うのと同様に、当院の事務職員も病院や社会全体をケアする視野を持って業務にあたっており、今回の取り組みはそれをさらに推進するものです。もちろん事務職員のみならず、他職種職員も同様の考え方を身につけることができればなお良いことでしょう。対象を広げて同様の取り組みを続け、社会に信頼される病院となるべく努力を続けてまいります。

KMBS参加者のコメント

今回のKMBSは2つの点で若手職員にとって良い機会だったと思います。1つは講義を通じてどの部署の事務職も形を変えて病院経営に参加していることを知り、経営に対する当事者意識を持つ機会が得られた点です。もう1つは共通の目的に向かって協働する中で、所属部署の異なるグループメンバー間で仲間意識が醸成された点です。労働集約型の病院において組織力は重要なため、今回の勉強会を通じて学んだことを意識しつつ今後も業務にあたって行きたいと思っております。



患者様と北野病院をつなぐ連絡帳

きたの通信 No.77 2021 夏号

企画・製作/広報室 発行日/2021年7月末日
www.kitano-hp.or.jp/